

令和5年度(令和6年度実施)事務事業評価

事業整理番号 0502 - 06

事務事業名	路上喫煙ポイ捨て防止事業	担当組織	環境清掃部	環境保全課
-------	--------------	------	-------	-------

事業特性												
	事業開始年度	30年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画	計画事業No.					
	単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	関連するSDGsゴール	3	8	11	14	15	17	
事業を構成する予算事業	①	路上喫煙ポイ捨て防止事業経費			②							
	③				④							
	⑤				⑥							

政策体系(令和5年度基本計画)												
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち				政策	環境の保全						
施策	地域美化の推進				政策番号	5-2-3						
関連する個別計画	無				計画策定年度		計画期間					

1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象
(具体的に記載)

区民、来街者

(2)

事業の目的・期待する効果

「路上喫煙及びポイ捨て防止に関する条例」の周知徹底を図るとともに、街の美化を推進することで池袋のイメージ向上を図る。

(3)事業概要

路上喫煙・ポイ捨て防止を呼びかけるキャンペーンごみゼロデーの実施及び路上啓発シールの貼付、もっときれいな街づくり推進などの普及啓発事業を実施する。

(4)

目標の達成状況

5年度の取組内容
5年度に実施した具体的な業務内容

・9月、11月に路上喫煙・ポイ捨て防止を呼びかけるキャンペーンごみゼロデーの実施(計7回)
・苦情箇所への路上啓発シール貼付
・もっときれいな街づくり推進事業(シルバースターズ)の通常業務として、道路等の清掃、喫煙者の注意・指導、ポイ捨てを行うものへの指導等

成果指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)	5年度(実績)	(達成率)	6年度(計画値)
① 路上喫煙率	→	%	0.03	0.05	0.03	140.0%	0.04
② 苦情件数	↘	件	314	300	306	98.0	300
③ 「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」について肯定的な回答をする区民の割合	↗	%	36.2	33.6	35.8	106.5	33.8

指標の説明

①路上喫煙率は、所定の時間帯に区内全駅前で実施する調査の際、路上喫煙者延べ数／通行者延べ数(成人)により算出した比率
②協働のまちづくり区民意識調査「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」に肯定的な回答をする区民の割合(%)

達成状況

達成

未達成または一部未達成の理由

(5)

取組実績

活動指標事業の実施状況

活動指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)	5年度(実績)	(達成率)	6年度(計画値)
① 路上喫煙・ポイ捨て禁止路上啓発シールの貼付数(枚)	↗	枚	163	154	171	111.0	161
② 回収した缶・ビン・ペットボトルの本数	→	本	44,040	53,000	45,172	85.2	53,000
③							

指標の説明

①路上喫煙・ポイ捨て禁止路上啓発シールの貼付数(枚)
②もっときれいな街づくり推進事業における缶・ビン・ペットボトルの回収本数

達成状況

一部未達成

未達成または一部未達成の理由

もっときれいな街づくり推進事業(シルバースターズ)については、契約に高齢者の健康管理のため、熱中症アラートが発令されたら業務の中断等を行うように記載している。年々、夏の気温が高くなり、熱中症アラートが発令回数が増えているため、一日の活動時間が減り、最終的に実績値が少なくなったと考えられる。

2. 事業費の推移												
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)			4年度		5年度			6年度				
			予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R5決算比)			
事業費	A		20,050	17,934	17,849	15,603	87.4%	17,949	2,346			
財源内訳	国、都支出金	B							0			
	使用料・手数料								0			
	地方債・その他								0			
	一般財源	C=A-B	—	17,934	—	15,603		17,949	2,346			
正規職員人数※小数点第1位まで			0.9	名	0.9	名		0.9	名			
会計年度人数※小数点第1位まで			0.7	名	0.7	名		0.7	名			

3. 総合評価及び令和6年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和5年度成果と課題	【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価	B	根拠	活動指標が未達成のため																																		
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。																																					
(2)業務(事務)改善にむけての取り組み	①目標に対する成果状況を踏まえた課題																																					
	成果指標については目標を達成している。駅前や大通りを中心に路上喫煙の対策を実施した結果、「路上喫煙率」の減少につながったが、裏路地における路上喫煙者数は増えており、その対策も必要となっている。																																					
(3)必要性/優先度	②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)																																					
	外国人等の来街者の評判も良い上、従事者にとっても、シニア世代の健康や生きがいの創出にもつながっている。区のシンボリックな存在となっている																																					
(1)令和5年度成果と課題	【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	実施体制等の改善・拡充を図ったため																																		
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。																																					
(2)業務(事務)改善にむけての取り組み	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)																																					
	成果指標については目標を達成している。駅前や大通りを中心に路上喫煙の対策を実施した結果、「路上喫煙率」の減少につながったが、裏路地における路上喫煙者数は増えており、その対策も必要となっている。																																					
(3)必要性/優先度	②現状の実施状況における所管課の認識																																					
	<table><tr><td>事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。</td><td>無</td><td>選択した理由</td><td colspan="2">「有」の場合は対応策も記載。</td></tr><tr><td>直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。</td><td>有</td><td>選択した理由</td><td colspan="2">「もっときれいな街づくり推進事業」は、直営にした場合、よりコストが必要なため、不可能である。</td></tr><tr><td>サービスに係るコストは適正か</td><td>適正</td><td>選択した理由</td><td colspan="2">高齢者のいきがい創出の目的のため、シルバー人材センターへ委託し、適正なコストのもと事業を運営している。</td></tr><tr><td>統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。</td><td>無</td><td>(有の場合)事業名</td><td colspan="2"></td></tr></table>				事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択した理由	「有」の場合は対応策も記載。		直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択した理由	「もっときれいな街づくり推進事業」は、直営にした場合、よりコストが必要なため、不可能である。		サービスに係るコストは適正か	適正	選択した理由	高齢者のいきがい創出の目的のため、シルバー人材センターへ委託し、適正なコストのもと事業を運営している。		統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																
事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択した理由	「有」の場合は対応策も記載。																																			
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択した理由	「もっときれいな街づくり推進事業」は、直営にした場合、よりコストが必要なため、不可能である。																																			
サービスに係るコストは適正か	適正	選択した理由	高齢者のいきがい創出の目的のため、シルバー人材センターへ委託し、適正なコストのもと事業を運営している。																																			
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																																				
(1)令和5年度成果と課題	③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況																																					
	<table><tr><td>対応、改善を既に行った</td><td>はい</td><td>はい</td><td>取組内容及び効果</td><td>ポイ捨てゴミが多い通りを清掃範囲として拡大した。</td><td>予算措置</td><td>無</td></tr><tr><td colspan="7">はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)</td></tr><tr><td>対応、改善の予定</td><td>無</td><td>無</td><td>対応、改善の予定がない理由</td><td colspan="3">十分な実施体制の拡充を図り、現時点では効率的に事業運営が行われているため。</td></tr><tr><td>有</td><td colspan="2">対応、改善の内容</td><td>予定時期</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td></td><td>予算措置</td><td>有</td><td>予算措置を伴わない実施との比較検討</td><td>予算措置を伴う理由</td><td colspan="2"></td></tr></table>				対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	ポイ捨てゴミが多い通りを清掃範囲として拡大した。	予算措置	無	はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)							対応、改善の予定	無	無	対応、改善の予定がない理由	十分な実施体制の拡充を図り、現時点では効率的に事業運営が行われているため。			有	対応、改善の内容		予定時期					予算措置	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	
対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	ポイ捨てゴミが多い通りを清掃範囲として拡大した。	予算措置	無																																
はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)																																						
対応、改善の予定	無	無	対応、改善の予定がない理由	十分な実施体制の拡充を図り、現時点では効率的に事業運営が行われているため。																																		
有	対応、改善の内容		予定時期																																			
	予算措置	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由																																		
(2)業務(事務)改善にむけての取り組み	【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	路上喫煙の防止と環境美化の推進に必要な事業で、区民からのニーズが高まっているため。																																		
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。																																					
(3)必要性/優先度	①区が実施する理由(複数選択可)																																					
	<table><tr><td>区民ニーズを 表す指標</td><td>有</td><td>有</td><td>指標番号 (成果)</td><td>②</td><td>指標番号 (活動)</td><td></td><td>サービス利用 者数</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>推移</td><td>→</td><td>推移</td><td></td><td></td></tr></table>				区民ニーズを 表す指標	有	有	指標番号 (成果)	②	指標番号 (活動)		サービス利用 者数				推移	→	推移																				
区民ニーズを 表す指標	有	有	指標番号 (成果)	②	指標番号 (活動)		サービス利用 者数																															
			推移	→	推移																																	
(1)令和5年度成果と課題	②区民ニーズ																																					
	区民ニーズに対する認識 路上喫煙等に関する苦情は約300件あり、行政による路上喫煙・ポイ捨て防止対策に対するニーズは高い。																																					
総合評価(d)=a+b+c		ランク2																																				

4.【前年度事務事業評価対象事業のみ】改善に向けた取組内容について			
(前年度事務事業評価表) 4「所管課の認識・R5年度以降の対応」を記載	通常業務である道路等の清掃、喫煙者の注意・指導、ポイ捨てを行うものへの指導等に加え、ごみゼロウィークなどを始め、区の実施するイベントにも参加を予定している。まちのイメージを向上させ、来訪者にきれいな街をPRしていく。		
上記の改善に向けて取り組んだ内容を記載(未着手の場合には理由を記載)	ごみゼロウィークなどの清掃イベントの際にシルバースターズも参加することで、お揃いの制服で活動する姿がPRにつながった。		
改善に向けた取組内容についての自己評価(e)	予定通りに進んだ	根拠	来街者等からの評判もよく、まちのイメージアップ、きれいな街のPRにつながっている。

5. 令和6年5月末時点の状況	
①令和6年度当初の課題・ニーズ	令和4年度、令和5年度にたばこに関する苦情は300件以上寄せられている。今後も苦情の件数が大幅に減少することは見込めないため、路上喫煙・ポイ捨て防止に関する周知啓発は必須である。
②国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	なし
③令和6年度の方向性・取組方針(事業展開)	・区民だけでなく、来街者や外国人観光客に対しても豊島区の喫煙のルールを周知していく必要があるため、啓発シールだけでなく、外国語併記のチラシを作成し、関係機関に配布するなど周知啓発を図っていく。 ・もっときれいな街づくり推進事業においては、定期的な清掃活動や啓発活動を実施していく。
④令和6年度の事業進捗状況	・5月末時点の回収した缶・ビン・ペットボトルの本数は、8,822本であった。このままのペースで業務が進んだ場合、取組実績における令和6年度の数値目標は達成可能なペースである。 ・寄せられた苦情を元に職員が現場に出向き、適宜、啓発シールの貼付を行っている。 ・9月、11月に開催のごみゼロウィークに向けて、関係団体との調整など準備を進めている。
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	・区民等より委託従事者へ「街をきれいにしてくれてありがとう」等の感謝の言葉をもらっている。 ・従事者からは、当該事業を継続してほしいという要望がシルバー人材センターを通じて寄せられている。
⑥上記⑤に対する対応	・シニア世代従事者からの事業継続の希望もあり、来街者からの評判もよい事業なので、今後も継続していく方針である。

-----以降の項目は、評価内容を踏まえて管理職が記載してください-----

今後の事業費予算要望（f）	現状維持	根拠	路上喫煙の防止と環境美化の推進に必要な事業で、シニア世代従事者や区民からのニーズが高い。
今後の事業の方向性（d+e+f） （現状の評価および施策評価を踏まえた評価）	B	※eは該当の事業のみ加味	
上記判断と今後の事業の方向性を踏まえ、令和6年6月以降に向けての対応を記載（改善方法、課題への対応など）			
現在行っている啓発シールの貼付に加え、区民だけでなく来街者や外国人観光客、留学生などにも豊島区の喫煙ルールを知ってもらうため、外国語併記のちらしを作成し、周知を図っていく。また、ごみゼロウィークなどの清掃イベントの開催やもっときれいな街づくり推進事業における清掃活動や啓発活動を実施していくことで街の美観を維持し、きれいなまち池袋のイメージを向上させる。			